









< 自然観察 >

プログラム名	1-1 [自然を守るには－水田・小川・ため池編－] 1すんでいる生き物を学ぶ
講師名	中川 亜希子
内 容	屋内または野外にて、水田・小川・ため池にすむ生き物(例:メダカ・赤とんぼ・ホタル・カエル類)の見分け方、すみか、食べ物、一生、他の生き物との関わりについて、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。*参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対 象	小学校高学年～一般
時 間	1～2時間
形 式	講義or観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：保険料・配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	参加人数:屋外開催の場合は20名まで(屋内の場合は何名でも可)
参考写真	
 	

プログラム名	1-2 [自然を守るには－水田・小川・ため池編－] 2なぜ生き物を守るのか・どうやって守るのか
講師名	中川 亜希子
内 容	屋内にて、水田・小川・ため池にすむ生き物を守る必要性（生態系サービス等）と方法について、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 *参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対 象	小学校高学年～一般
時 間	1時間
形 式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	テキスト代と保険代500円
参考写真	
 	



プログラム名	1-3 [自然を守るにはー水田・小川・ため池編ー] 3生き物を守る技術
講師名	中川 亜希子
内 容	奈良市青少年野外活動センター周辺にて、水田・小川・ため池にすむ生き物を守るための技術について、現地での簡易調査（水質・指標生物）および保全体験（畦作り・穴掘り等）をつうじて学びます。
対 象	小学校高学年～一般
時 間	2～3時間 ※生物活動に配慮するため、11～12月のみ実施可能
形 式	調査・体験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：保険料・施設利用料・配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	事前に打合せが必要です。実施の2か月以上前にご相談ください。現地までは各自お越しください。当日荒天の場合は室内でのプログラムをします。
参考写真	
 	

プログラム名	1-4 [自然を守るにはー雑木林編ー] 1すんでいる生き物を学ぶ
講師名	中川 亜希子
内 容	屋内または野外にて、雑木林にすむ生き物の（例：ドンゲリの木・マツの木・哺乳類・カフトムシ・クワガタムシ）の見分け方、すみか、食べ物、一生、他の生き物との関わりについて、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対 象	小学校高学年～一般
時 間	1～2時間
形 式	講義or観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：保険料・配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	参加人数：屋外開催の場合は20名まで(屋内の場合は何名でも可)
参考写真	
 	

プログラム名	1-5「自然を守るには－雑木林編－」 2なぜ生き物を守るのか・どうやって守るのか
講師名	中川 亜希子
内 容	屋内にて、雑木林にすむ生き物を守る必要性（生態系サービス等）と方法について、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対 象	小学校高学年～一般
時 間	1時間
形 式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：保険料・配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	－
参考写真	
 	

プログラム名	1-6「コウノトリ」の復活と自然再生
講師名	中川 亜希子
内 容	屋内にて、コウノトリを例に生物と環境要因の関わり、自然を再生することの難しさ・大切さについて、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対 象	小学校高学年～一般
時 間	1～2時間
形 式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：配布資料代等の実費が必要（応相談）
備 考	－
参考写真	
 	

プログラム名	1-7 絶滅危惧種(ぜつめつきぐしゅ)と私たち
講師名	中川 亜希子
内容	屋内にて、絶滅危惧種について生物の例（動物園の動物、身近な動植物）、減少する理由、守る方法、生き物を守る必要性（生態系サービス等）と方法について、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対象	小学校高学年～一般
時間	1～2時間
形式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：配布資料代等の実費が必要（応相談）
備考	—
参考写真	 

プログラム名	1-8 外来生物(がいらいせいぶつ)が及ぼす影響と対策
講師名	中川 亜希子
内容	屋内にて、外来生物について生物の例、問題点、対策（ペット遺棄含む）、在来生物を守る必要性（生態系サービス等）について、スライドを使った解説とクイズ形式の問いかけにより、学び・考えます。 ※参加者の年齢・知識に応じアレンジ可能
対象	小学校高学年～一般
時間	1～2時間
形式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	配布資料代等の実費が必要（応相談）
備考	—
参考写真	 

プログラム名	1-9 里山の観察会(食育も含む)
講師名	岡本 胤継
内 容	植物や昆虫などを主に観察することで地域の自然環境について学びます。生態系や自然と人間との関わりなどに視点を導きます。
対 象	幼児～成人
時 間	30分～120分
形 式	観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	保険料、資料代金
備 考	—

プログラム名	1-10 身近な木って、どんな木？
講師名	藤田 昂大
内 容	子どもたちにとって身近な場所、小学校の校庭にある樹木の観察をします(校庭でなくても公園等でも行えます)。観察するポイントはその樹木の四季の様子、実、花、そして葉の形や香り等です。
対 象	小学生
時 間	90分
形 式	観察、講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	—

プログラム名	1-11 フールに生息するトンボの幼虫の救出と生き物の観察をしよう
講師名	谷 幸三
内 容	フールは夏が過ぎると防火用水として、水をためておきます。そこに落葉等がたまり秋に産卵した赤とんぼやユスリカ等が生息します。5月末頃にフール掃除をするときにトンボの幼虫が多く生息しているのを殺して流します。このトンボの幼虫を救出して、トンボになる羽化の観察をしながら命の大切さも学びます。学校のフールを利用します。(5月中旬～6月初旬)
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験(COD)
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-12 学校ビオトープの作成と生き物を観察してみよう
講師名	谷 幸三
内 容	学校の空間に生き物が棲める小池や流れを作成して、その周辺の生き物が生息していく様子を一年間観察します。ビオトープの作成は学校と地域の人と相談をしながら行いますが、かなりの経費がかかります。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-13 水田の生き物を観察しよう
講師名	谷 幸三
内 容	水田にはミジンコ・トンボの幼虫・カブトエビ・オタマジャクシ・カエル等多様な生き物が棲んでいます。食物連鎖のしくみを考えます。また、多くの生き物が生息する水田で育てるイネは安心・安全な米を食べることになることを観察しながら考えます。殺虫剤や除草剤の農薬についても考えます。 5月中旬～6月下旬、秋にも観察できます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円、講師謝金は相談に応じます。
備 考	参加人数は10人～200人。

プログラム名	1-14 校庭の樹木を観察しよう (奈良公園や近くの公園や杜寺林でも可能)
講師名	谷 幸三
内 容	校庭にはいろいろな樹木が植栽されています。樹木の名前しらべや花の形態や果実の観察をしながら植物の生態について考えます。また、植物は光合成をするときに二酸化炭素を吸収することから地球温暖化についても考えます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-15 バタフライガーデンの花と昆虫の関係を観察してみよう
講師名	谷 幸三
内 容	学校や公園には多種多様な花を咲かす植物が植栽されています。四季を通じて吸蜜にくるチョウ・ハナアブ・甲虫等の昆虫が訪れます。昆虫の体の仕組みや花の形態を観察して花と昆虫の仕組みを観察します。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-16 春の野草の名前を調べてみよう
講師名	谷 幸三
内 容	春にはいろいろな野草が花を咲かせます。おなじみのタンポポには在来種のカンサイタンポポ・シロバナタンポポと外来種のセイヨウタンポポ・アカミタンポポが見られます。在来種は自然豊かな所に多く見られ、外来種は都市化した所に多く見られることから環境指標生物になっています。植物と環境について考えます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-17 野鳥と自然環境とかわいさを観察してみよう
講師名	谷 幸三
内 容	野鳥には昆虫を食べる種や果実を食べる種や大型の動物を食べる種や雑食の種などがいます。一年中いる留鳥や夏鳥・冬鳥がいます。鳥の繁殖や行動やわたいについて学び野鳥の役割について考えます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-18紅葉の仕組みや葉の形やドングリ等の果実の観察をして種子の運搬についても考えよう
講師名	谷 幸三
内 容	樹木には常緑樹と落葉樹があることと紅葉していく仕組みを考えます。また、フナ科のドングリを拾い見分け方や樹木の果実のいろいろな形の観察を通して種子の運搬について考えます。樹木の役割と地球温暖化について考えます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-19 平城宮跡の野草とバッタと野鳥の観察をしよう
講師名	谷 幸三
内 容	平城宮跡の野草とバッタ類の名前しらべと野鳥の観察をしながら生態系の仕組みについて考えます。バッタのオリンピック大会をしながら楽しみます。
対 象	保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生・大人等
時 間	60分～120分(希望に応じます。)
形 式	講義・観察・体験・調査・実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：テキスト代と保険代500円
備 考	参加人数は10人～200人

プログラム名	1-20 身近な自然を体験しよう！
講師名	北野 絵理
内 容	実施場所の近所の公園を使って樹木調査等の自然観察を行います。また、ネイチャーゲームを通して自然を体感し、身近な自然や季節を感じていただきます。
対 象	幼稚園～大人 20名まで ※小学2年生以下は保護者が同伴してください。
時 間	90分
形 式	観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	—

プログラム名	1-21 森へ行こう、自然と仲良しになろう
講師名	川崎 真弘
内 容	座学の後、里山や公園へ出かけて樹木を観察して森の仕組みや働きを知ってもらい、自然のすばらしさ、不思議を経験し、自然の大切さ、尊さを理解してもらおう。人間は自然の一部であると経験してもらおう。
対 象	小学生から大人
時 間	120分
形 式	観察と講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：500円(保険代、資料代)
備 考	参加人数：観察会は講師1名につき10名位、室内講座は1教室30名位

プログラム名	1-22 森や山、身近にある公園、校庭で自然観察をしてみよう
講師名	柴垣 宗範
内 容	植物の観察を通して自然とふれあいながら、自然を好きになってもらい、森林や生物の生態系を学び、自然の大切さを知ってもらおう。
対 象	小学生～大人
時 間	1時間程度から希望内容により個別相談に応じます。
形 式	観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	保険代、資料代等個別相談
備 考	講義のみや、講義＋観察会や、ネイチャークラブや、ネイチャーゲームの複合バリエーションも用意できます。

プログラム名	1-23 花や野菜を種やさし木から育てよう！
講師名	川辺 恵美子
内 容	花や野菜を種やさし芽をして育てる植物栽培から、命の大切さを学ぶ。季節の移り変わりにあわせて種を蒔き、さし芽をする。根づいた植物を観察しながら花や野菜を育てて収穫する。
対 象	小学校低学年～大人
時 間	60分
形 式	体験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	畑やプランター、鉢、箱などで栽培し、身近で観察し育てる。ペットボトルのリユースとして種まきや栽培に活用する。
参考写真	

プログラム名	1-24 矢田山遊びの森で自然観察をし、木や竹のクラフトづくりをしよう
講師名	辰己 芳利
内 容	矢田山遊びの森には、自然観察コースとして、A(30分)・B(50分)・C(60分)の3つのコースがあり、子供から大人まで夫々に適したコースを選んで、午前中は自然観察をし、午後には材料が準備できる範囲で、木や竹のクラフト(竹笛、がいがいトンプ、小枝でサルの顔づくりなど)を行う。
対 象	子供(園児、小学生)と保護者
時 間	9:30～15:00
形 式	観察
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	参加費：1人200円(保険代、材料費等)
備 考	参加人数：10人(人数が増えると、10人に1名の指導者が必要)

プログラム名	1-25 守ろう日本の淡水魚！
講師名	細谷 和海
内 容	奈良市内に生息する淡水魚を中心に希少種の現況と保護について解説する。
対 象	高校生以上(50名以上)
時 間	1時間
形 式	講演
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	—

プログラム名	1-26 フラックバスを退治する！
講師名	細谷 和海
内 容	奈良市内の水辺に侵入しているフラックバスの現況と生態系への影響について解説し、外来種問題について考える。
対 象	高校生以上(50名以上)
時 間	1時間
形 式	講演
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	近畿大学奈良キャンパスでの開催も可能

プログラム名	1-27 森のムッレ教室
講師名	三宅 基之
内 容	森のムッレ教室は1892年から続くスウェーデン野外生活推進協会の活動の中から1956年に誕生しました。幼児期からの環境教育として、現在日本をはじめ世界に広まっている活動です。森のムッレは森に棲む妖精で子どもたちに自然の大切さを教えてくれます。あなたも子どもたちをつれてムッレに会いに自然の中へ出かけませんか！
対 象	5・6歳児とその保護者
時 間	90分
形 式	体験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	親子一組2000円/1回。
備 考	原則として、6回シリーズで受講いただくプログラムです。

参考写真



プログラム名	1-28 奈良エコミューゼ創造プロジェクト
講師名	三宅 基之
内 容	里地・里山再生整備を軸に参加者がテーマを決めて取り組むアクティブラーニングプログラムです。大人が中心のプログラムですが、高校生以上でしたら参加できます。豊かな歴史文化・自然環境を活用して「地域まるごと文化博物館」を創造して、東部中山間地の活性化につながるまちづくり活動に参加しませんか？
対 象	高校生以上
時 間	随時
形 式	実験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	費用は随時お問い合わせください。
備 考	奈良市青少年野外活動センターを拠点に、奈良市大柳生地区で活動します。大人向け環境教育のフィールド・プログラムを開発する地域活性化プロジェクトです。
参考写真	